



No. 94

岡山県立図書館の開館に当たって

岡山県図書館協会長
岡山県立図書館長

松井英治



会員の皆様には今年も大変お世話になりますが、よろしくお願

いいたします。さて、昨年は相次ぐ台風襲来、そして中越地震、年末のスマトラ沖地震・津波と自然災害に見舞われた年でもありました。そうした中で本県図書館界にとっては、県民の皆様待望の新岡山県立図書館が、岡山城を望む県庁北側の歴史的景観の地に、我が国トップクラスの機能を備え昨秋にオープンいたしました。まさに県民の皆様にお造りいただいた図書



岡山県立図書館外観

館の誕生です。この図書館誕生までには多くの紆余曲折がありました。県民の皆様への御支援・御理解を始め、関係・各位の一方ならぬ御努力の賜物であると同時に、本県図書館界、県図書館協会が果たした役割が大きかったのではないかと思います。そうした中で誕生した県立図書館の担う役割は、大別して三つに集約されると思います。一点目は県民の皆様への生涯学習の場として、二点目



1階：閲覧室

は市町村図書館・図書室の中核拠点として、三点目は大学・学校図書館等との連携も視野に入れた県内図書館ネットワークの要としての役割であるとの認識です。その役割を果たすためには、「日々求められるサービスとは何か、何が新しいニーズか。」を常に県民の視点、利用者の視点で、アンテナを高くして把握することのできる感性を磨き、図書館の運営を充実させていくことに努めなければならぬと考えています。社会は少子高齢化、高度情報化を始めた多様化の時代であります。特に今年には平成の市町村合併の年でもあり、大きな変革の時代であります。こうした社会の変革への対応は図書館界も例外ではなく、適切な対応が求められています。



1階：カウンター

こうした中、図書館界を取り巻く状況の中には大変厳しいものもありますが、読書の素晴らしさ、情報の宝庫である図書館の意義は何時の時代にも変わらないものであると同時に、その役割の重要性は改めて見直されています。私たち岡山県図書館協会が今まで培ったネットワークを活かし、会員相互が普段から切磋琢磨していくことにより、会員各位の役割の中で力を十分に発揮していくことが大切であります。新しい時代の図書館協会として、皆様への御支援、御協力のもと時代を先取りした有意義な活動が出来るよう、皆様と一緒に推進していきたいと思っておりますので、よろしくお願



平成十六年九月二十五日に岡山県立図書館が開館しました。今回は新しい県立図書館についての御意見、御感想を話し合っていたらどうと、会員の中から市立図書館・町立図書館・大学図書館・学校図書館の方に集まりいただいて、座談会を行いました。その内容を御紹介します。(事務局)

▲座談会メンバー▼

宮本 嘉彦 (岡山市立中央図書館)
 松村 謙 (奈義町立図書館)
 嵯峨奈美子 (岡山大学附属図書館)
 水溜友紀子 (就実大学図書館)
 堀口 寛子 (久米南中学校ほか三校)

▲司会▼

隈元 恒 (岡山県立図書館・岡山県図書館協会企画委員会委員長)

●第一印象●

隈元 座談会の司会というのは初めてですが、ざっくばらんに御意見を聞いていただければと思います。では、まず新しい県立図書館の感想をお聞かせください。

宮本 開架スペースが広いのが魅力的で、新しいメディアにも対応したこれからの図書館という印象を持ちました。交通のアクセスもいいし、いい場所がいい図書館が出来たなと思います。

堀口 新しい本がたくさんあるだろうと思ってたんですけど、一般書も児童書も意外と古いものが多いですね。児童コーナーも狭いような気がしました。蔵書検索用の端末も、もう少しあればよかったのに残念です。ただ、読み聞かせのスペースは形も大きさも丁度いいと思いました。

水溜 新館ということもあって、きれいで立派だなというのが第一印象です。児童コーナーが狭いような印象は私も持ちましたが、子どもたちが走ったりする音が外に漏れないようになっていて、よく考えて造つてあるなと思いました。

松村 市街地の中心にあるのに駐車場も広く、自分のように遠くから車で来る者にとっても、便利で使いやすい施設になっていると思いました。

嵯峨 私はまず、閲覧室の入口に立っている警備員に驚きました。入ってもいいのかなと戸惑いながら閲覧室に入ってみると、職員の方が声をかけてくれたので、その対応はよかったです。

●サイン●

嵯峨 登録を終えてから、閲覧室を見たんですけど、本の配置が一度にはわかりにくい感じがしました。

堀口 書架に行くのに、案内図を見て行ったんですけど、途中でわからなくなることもあるので、上の方に表示がぶら下がっていたらいいのになと思いました。

水溜 表示はこの図書館も悩みの種ですね。自分は図書館員の視点で見るので、見当を付けて探すことができますけど、一般の方には少しわかりにくいのかもかもしれません。

宮本 開架スペースが広くなれば表示も難しくなりませんが、職員が資料の配置をきちんと把握していれば利用者案内することができるとは思います。そうであることが重要ではないかと思えます。開架スペースは他の県立図書館に比べてもいいと思えますよ。

●岡山県関係資料●

隈元 図書館が新しくなって広く

なった分、郷土資料部門でも配置がわかりにくいという声が聞こえるようになってきました。皆さんも御存知だと思いますが、旧文化センターの郷土資料室はそれほど大きくなかったので、利用者も「あの棚にあった本」というような探し方をされていました。広くなった今となっては狭かった頃が懐かしいという声も聞かれました。資料を配置する難しさを感じています。

堀口 以前こちらを見学に来た人に聞いたんですけど、郷土資料が意外に少ないみたいですね。

隈元 郷土資料は、古くて貴重なものが多く含まれるので、書庫に入れてしまっているものもあります。そのせいもあると、そういう印象を受けられたのかもしれないですね。

宮本 県内の公共図書館や大学図書館と協力して、郷土資料の情報をお互いに共有していくことで資料の充実を図ることが大切ですよ。岡山県関係の資料を出版したら県立図書館に納めたり、情報を寄せるようにして、郷土資料を充実させるっていうのは大事なことだと思います。その場合は、本に限らず雑誌やミニコミ誌も積極的に収集して欲しいと思います。

隈元 これまではなかなか情報が伝わってこなかったこともあります、

県立図書館が新しくなったことによつて、様々な情報を教えてもらう機会が増えたような気がします。

宮本 その点では、インターネットで県立図書館の蔵書検索ができるというのには有効ですね。ネットで検索して県立図書館に所蔵がない場合は、その資料についての情報を県立に提供する。これはやはり県立図書館を支えるという意味で、大学図書館を含めた県内の図書館の重要な役割ではないかと思えます。

● デポジットライブラリー ●

宮本 新しい県立図書館は、開架スペースも広いですが、書庫のスペースも広いですね。特に自動化書庫は、資料を入れてしまうとテーマごとに探すのが難しくなるんでしょうけど、たくさんさんの資料を収蔵するには有効だと思います。

松村 そうですね。自動化書庫はうらやましいなと感じました。

宮本 今から出版されるものもそうですが、県立図書館としては過去に出版されたものも何とかして集めて欲しいところです。先日岡山県市立図書館で除籍したものを引き取っていただいたんですけど、そういったかたちで、市町村の図書館で利用頻度が落ちてしまった資料でも、県内に保存しておいてほしいという資料

は、県立図書館で積極的に受入れて欲しいなという思いがあります。それから、今から出版されるものうち、特に児童書については継続的に収集して欲しいところです。財政状況は厳しいでしょうが、現在の予算を継続して確保してこそ、デポジットライブラリーとしての役割を十分果たせるのではないかと思います。それから、書庫スペースに余裕がある間は、新聞も原紙を保存していただきたいです。

水溜 そうですね。新聞はCD-ROMやインターネットでも検索や閲覧ができますけど、そういったメディアの場合はシステムの更新やパソコンの機種の変更等で見られなくなってしまうことがあるんですね。もちろん新しいメディアに対応していく必要もありますけど、そのメディアがどれくらい使えるのかとか、機械がどうなるのか等、先が見えないものに頼るのは危険だなという感じがします。紙媒体というのは、特に新聞なんかはそうですね、保存するための場所を確保するのが大変ですけど、大事な資料なんだと最近痛感しています。

宮本 インターネットのサービスも契約を解除してしまえば、それで済みですからね。やはり新聞は可能な限り原紙を保存していただきたい

いです。

● 主題別部門制 ●

嵯峨 以前研修で県立図書館に来た時に聞いたんですけど、主題別のカウンターに専任の職員を置いて、どんな質問にも答えるような体制をとっているそうですね。

水溜 カウンターにいる人がそれにあたるんですね。

嵯峨 私が勤務するのは大学図書館なので、そういう面では利用者からの質問にはきちんと答えられなければならない立場にあつて、その話を聞いた時、これは県立に座を奪われるかもしれないと不安になったんです。同時に、岡大も頑張らなきゃとも思いましたけど。

隈元 以前から郷土資料は専任の職員を配置していましたが、新県立図書館では、閲覧室全体に主題別部門制を採用していて、質問内容の分野別に専任の職員が対応するかたちをとっています。児童資料部門や人文科学資料部門等、全部で六部門に分かれています。

嵯峨 専任の職員が当たるとのことですが、各カウンターにいるレファレンサーの方は、特別な研修プログラムを受けておられるんでしょうか。

隈元 もともと司書は特定の主題の専門家ではないので、配置された部

署で日々サービスをしながら、その主題の資料の勉強をしていくという状況です。

嵯峨 そうですか。私たちも配置された場所で仕事をしながら勉強をしているんですけど、今回県立図書館が主題別部門制を採用されたと聞いたので、事前に教育のプログラムがあつたのかなと思つて聞いてみたんです。

事務局 児童資料部門については、倉敷市立中央図書館に御協力をいただいて事前に研修を行うことができました。その他の部門については、開館の一年前から担当部門を決めて、日常業務を抱えながらでしたが、資料の選定や業務マニュアルの作成を行うことで研修してきました。これから頑張らないといけないところですよ。

水溜 カウンターにいる方々がレファレンサーだと思っんですけど、閲覧スペースで配架をしているアルバイトの方が、利用者から質問されることはないですか。利用者には誰が職員で誰がアルバイトかっていうことは区別がつきにくいんじゃないかと思うんですけど、やはりそういう場合はカウンターに案内することになるんですか。

隈元 そうなりますね。それにカウンターにいる職員も、担当ではない

部門の質問を受けることがあるので、その場合は他のカウンターを御案内することになります。一つの部門の資料だけでは間に合わない場合もあつて対応が難しい時もあります。

宮本 その辺が主題別部門制の難しいところですよ。一つのカウンターで全ての質問を受けることもできますけど、部門別にカウンターが別れている場合は、利用者をどこに案内するか判断が重要で、司書の力量が問われるところだと思います。いかに利用者から正確な質問内容を聞き出して、的確な部門に案内するかが問題ですよ。

● ネットワーク ●

嵯峨 いま私は窓口と相互貸借を担当しているので、学生等からの依頼で学外から資料を取り寄せることがあります。県立図書館の説明によると、県内の図書館のリクエストには必ず答えますとのことでしたので、これは頼もしいなと思いました。岡大も資料搬送システムに参加する話が出ていますので、協力していったらいいなと思っています。

宮本 搬送の話が出ましたが、大学図書館への搬送も始まるんでしょうか。大学の場合は国立・私立で立場が違うと色々な事情があると思うんですが、そこを県立図書館がうまく

調整してくださるとありがたいんですけど。特に岡大さんは学外者にも資料の貸出しをしておられますし。

嵯峨 岡大に関して言えば、状況が整うのを待っているような状態で、参加する方向にはあるようです。搬送はまだ確保されていませんが、横断検索システムは有効に活用させていたでいて、窓口で学生に県立や市立の図書館を紹介しています。詳しい学生は自分で調べて貸出しを受けているようですし、横断検索システムのことを知らない学生には活用するように勧めています。

事務局 横断検索システムについては、大学図書館では岡山大学さんの他に岡山商科大学さんも参加されています（座談会以後、岡山県立大学も参加）。搬送システムについても、今後は岡大さんをはじめ、いくつかの大学にも御参加いただけるのではないかと思います。

嵯峨 岡大は学外者の利用も結構多いので、搬送システムに参加できて、大学図書館と公共図書館の間で資料が相互に行き来するようになれば、公共では一般的な資料の充実に、大学では学術的な資料の充実にあたれるのかなと思います。住み分けは必要ですよ。

● 広報活動 ●

堀口 インターネットを使える方は、いろんなシステム等を活用できるのかもしれないんですけど、そうではない人はどうしたらいいんでしょう。ホームページに載せるだけじゃなくて、県立図書館の新着図書案内とかイベント案内のちらしを作つて、もっと積極的に子どもたちに配付して欲しいです。子どもでなくてもパソコンの操作がよくわからない方もあると思うので、テレビや新聞等、色々な方法で県立図書館の情報を知らせたいと思います。

嵯峨 そうですね。私たちはホームページを見る機会もありますが、そういう方ばかりではありませんよ。

隈元 県立図書館は県民皆さんの図書館ですので、県内全域にサービスを展開する必要があると思います。直接来館できなくても、市町村図書館のバックアップをすることで、その地域にお住まいの方へのサービスができればと考えていますが、そのためには広報活動も重要ですよ。

松村 県立図書館で何かのイベントの時にでも地区ごとに利用者への説明会を考えてはいないんですか。

隈元 開館前に、県内のいくつかの図書館で、県立図書館の利用者カードの事前登録をさせていただきまし

たけど、やはり実際にいろんな地域へ出かけていくことも必要かもしれないですよ。

● 研修会 ●

松村 先ほど市町村図書館のバックアップということを言われましたが、そういう面では、新館になってから児童書もシステムを使って予約できるようになって、とても助かっています。ただ、一般書も含めて禁帯出の資料を図書館までは貸していただけするようにして欲しいのですがどうなんでしょうか。

事務局 資料にもよりますが、図書館までの貸出しなら可能なものもありますのでお問合せいただければと思います。

松村 最近特に司書の専門性が話題として取り上げられて、それに関連してレファレンス能力が問われることもあると思うんですけど、町立図書館では資料の数自体が少なく、参考図書の種類も限られていて、レファレンスの数をこなす機会が少ないのが現状です。そのような状況ではレファレンス能力を高めることが難しいので、研修会という形でも構わないと思うんですけど、実際に参考図書の現物に当たって、レファレンスの数をこなすことができるような場を作っていただけだと感じます。

宮本 これからは研修会も積極的に開いて欲しいです。図書館職員対象のものはもちろんのこと、一般県民対象のものも開催して欲しいですね。様々な研修会を通して、県内の図書館職員の資質の向上を図って欲しいです。

● **まとめ** ●

嵯峨 これからは、図書館の種別を超えて協力し合えればいいですね。図書館の種別が違っていると、垣根があるような気がして、何かお願いしたいことがあっても、つい申し訳ないような気がしてしまうんですね。でもこれからは、利用者が必要な時に必要な図書館に行くことができるように、図書館員が連携を取れるようにすればいいんですね。

宮本 そういう意味では、県立図書館の役割は大事ですし、図書館協会の研修の場を使うというのにも有効じゃないでしょうか。協会の会員は図書館職員だけじゃなくて、一般の利用者もおられるので、その方たちの意見を聞く会なんかをしていただけたらいいかなと思います。

隈元 新しい県立図書館について、たくさんさんの御意見が出ましたが、これからの図書館運営に反映できるものについては、努力していかれたらと思います。長時間にわたって、今日はどうもありがとうございました。

● **岡山県立図書館開館までの経緯** ●

年月日	事 項
S62. 12	「岡山県総合文化センター等の再編整備について」が検討委員会から答申 ・図書館部門を複合的機能から独立させ中核的図書館として充実・強化
H10. 4	岡山県立図書館基本構想策定委員会の設置（委員13名）
. 6	建設候補地の決定 岡山市立丸之内中学校跡地（面積約13,300㎡）
. 9	「岡山県立図書館基本構想」が策定委員会から答申
. 9	岡山県立図書館建設に関するアンケート、意見交換会の実施
. 10	岡山県立図書館基本計画策定委員会の設置（委員11名）
H11. 4	岡山県総合文化センター蔵書検索システムをインターネット公開
. 5	「岡山県立図書館基本計画案」中間まとめ公表
. 7	「岡山県立図書館基本計画」を公表
. 10	埋蔵文化財調査
. 11	分散型総合目録検索システム実験（岡山県総合文化センターと倉敷市立図書館）
. 11	岡山県立図書館事業評価委員会の開催
H12. 10	岡山県立図書館設計者を公募型プロポーザル方式で決定 ・安井・山陽設計共同体（JV）
H12年度	基本設計
H13. 5	岡山県図書館横断検索システムの運用開始
H13年度	実施設計
H14. 10	岡山県立図書館起工式（大林組・大本組・中国建設工業）
H15. 4	図書館資料搬送システムの試行実施（毎週1回全市町村に搬送）
. 9	インターネット予約貸出サービスの試行実施
H15. 10	岡山県図書館間相互貸借システムの運用開始
H16. 3	岡山県総合文化センターが閉館 岡山県立図書館が竣工
. 4	岡山県立図書館への引っ越し作業開始
. 7	児童資料部門のマスコットキャラクターに「ヨムヨム」
. 9	岡山県立図書館開館（9月25日正午）

会員消息

入会個人

- 松井 英治 (岡山県立図書館)
- 三村 修 (岡山県立図書館)
- 大谷 正 (岡山県立図書館)
- 磯野 千恵 (岡山県立図書館)
- 宮本 陽子 (岡山県立図書館)
- 西野 優子 (岡山県立図書館)
- 田中久美子 (岡山市立中央図書館)
- 笠原 昭則 (倉敷市立中央図書館)
- 綱山 正徳 (津山市立図書館)
- 田代 尚利 (玉野市立図書館)
- 大塚 浩司 (玉野市立図書館)
- 畑地 泉 (井原市立図書館)
- 岡田 廣康 (井原市立図書館)
- 守長 健尚 (総社市立図書館)
- 山下 晴夫 (高梁市立中央図書館)
- 赤木 祐子 (高梁市立中央図書館)
- 原田 恭江 (笠岡市立図書館)
- 杉本 靖子 (建部町立図書館)
- 木村 芳恵 (建部町立図書館)
- 丸山 桂子 (早島町立図書館)
- 松浦 清一 (金光図書館)
- 西川千鶴子 (就実大学図書館)
- 山部 倫子 (就実大学図書館)
- 伊藤 香里 (山陽学園大学図書館)
- 尾崎 恭子 (中国学園図書館)
- 小久保博之 (岡山学院大学・岡山短期大学図書館)
- 岸部三枝子 (岡山県作陽高等学校)
- 坂口 桂蔵 (県立倉敷古城池高等学校)

校

二熊 恒平 (県立水島工業高等学校)

会員状況(平成十七年一月現在)

個人会員……二百九十六名
 施設会員……七十七名
 ヘラントク別内訳)
 A…二十一館 B…十八館
 C…三十四館 D…四館

訃報

黒崎 義博氏
 (県図協理事 岡山学院大学・岡山短期大学助教)
 平成十六年十一月二十一日逝去享年七十六歳
 謹んで御冥福をお祈りいたします。

平成十五・十六年度役員

異動・退職による役員の新補充で、次の方々が選出されました。

会長

広江 寿彦↓松井 英治 (岡山県立図書館)

副会長

井上 一↓大崎 紘一 (岡山大
 学附属図書館)
 西山 和義↓押谷善一郎 (就実短
 期大学図書館)

理事

- 武田 俊宏↓笠原 昭則 (倉敷市立中央図書館)
- 陶山 正志↓守長 健尚 (総社市立図書館)
- 生谷 吉男↓小野ツルコ (岡山県立大学附属図書館)
- 上島 孝久↓西山 和義 (美作大学短期大学部附属図書館)
- 渡辺 光右↓三村 修 (岡山県立図書館)

平成十六・十七年度企画委員

平成十六・十七年度の委員に次の方々が会長より委嘱されました。委員長には隈元 恒氏、副委員長には守屋 明子氏を選出されました。任期は平成十八年四月末日までです。

- 隈元 恒 (岡山県立図書館)
- 湯浅 恵子 (岡山市立中央図書館)
- 中村美小代 (倉敷市立玉島図書館)
- 竹内 康子 (新見市立図書館)
- 竹内 あい (佐伯町立図書館)
- 清水 房恵 (鴨方町立図書館)
- 結石 麻里 (旭町立図書館)
- 片岡美佐江 (川崎医療福祉大学附属図書館)
- 河口 澄子 (川崎医療短期大学附属図書館)

守屋 明子 (順正短期大学附属図書館)

事務局から

会報の発行が遅れました。大変申し訳ありません。今回は、昨年にオープンした岡山県立図書館をクローズアップしてみました。県立図書館の役割や機能について話し合う座談会を開催して会報で紹介したという、企画委員の皆様のアイデアによったものです。座談会に御参加いただいた会員の皆様にはありがとうございます。

今後も企画委員会での意見をもとに、会報の編集や研修会を企画していく予定です。会報や研修会についての御意見や御要望がございましたら、お近くの企画委員の方から事務局まで御連絡ください。

平成十七年二月二十八日
 〒七〇〇一〇八二三
 岡山市丸の内二一六一三〇
 岡山県立図書館
 メディア協力課 図書館協力班内
 岡山県図書館協会
 会長 松井 英治
 (〇八六) 一三四一 一二六九